

ICE

北海道国立大学機構
教育イノベーションセンター

<https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/>

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11

国立大学法人北海道国立大学機構

経営企画課大学連携室教育推進係



国立大学法人
北海道国立大学機構
Hokkaido Higher Education and Research System

大学の枠を越え、自身の枠すらも飛び越えよう

ご挨拶 message

センター長 江頭 進

北海道国立大学機構教育イノベーションセンターは、小樽商科大学、帯広畜産大学、北見工業大学の三つの大学の教育のシナジー効果を発揮することを目的として設立されました。三つの大学が提供する商・農・工の分野の講義を相互配信するとともに、三つの大学が共同して提供するリカレント教育の設計・運用を行っています。

三つの大学間の合計距離は東京―岡山間に匹敵します。この距離を埋め、どこの大学にいても十分な教育効果を望むことができる遠隔教育の技術の開発や、教育の質を保証するための調査・研究もわたしたちの役割です。

北海道国立大学機構の三大学に所属する学生のみさんには、通常の総合大学以上の幅広い知識を身につけるチャンスがあります。ぜひ教育イノベーションセンターが提供するプログラムに参加し、広大な北海道の地理的特性や産業の性質を最大限に活かして世界の将来を担える人材になることを期待します。

◎ 教育イノベーションセンター概要 overview

教育イノベーションセンターでは、現在三大学の提供する約50科目の講義を相互配信しており、毎年のべ7,000人を超える学生の受講生がいます。さらにアントレプレナーシッププログラム、スマート農畜産業プログラム、スポーツ・健康プログラムの文理融合教育プログラムを修了すると、各大学の学位に加えて、プログラム修了証が発行されます。また、三大学の学生交流を推進するためのサポートも行っています。

他大学 異分野 の授業を受講して可能性を広げる

01 授業科目を相互提供

自身の所属する大学の授業科目に加え、他の二大学の一部授業科目を受講することができます。異分野の授業科目を学ぶことは、皆さんの**可能性を大きく広げ、将来のキャリア形成にも役立つ、非常に魅力的な制度**です。

▶▶▶ 三大学ならではのリベラルアーツ科目を提供します。 **令和7年度は50科目を提供**

異分野に触れる事で、多様化する社会のニーズに応える能力を育むことができます。一部科目ではオンラインや対面で他大学学生との交流もあります。

数理・データサイエンス科目	文理融合導入科目	地域理解・課題解決型科目	ベンチャーマインド醸成科目
数理的思考、データ分析、活用能力を習得する導入教育 ・数理データサイエンス概論 ・プログラミング入門I 等	分野を越えた専門知を育成するための導入教育 ・社会科学入門 ・農業とテクノロジー ・農業と経済 ・地域環境科学 等	地域の課題解決に向けた意識を育むための基盤教育 ・北海道産業論I ・地域活性化システム論 ・とちろ学 ・北海道学 等	ビジネスプランを立案・実施できる能力を育成 ・アントレプレナーシップ概論 ・科学技術と社会の展望 ・アントレプレナーシップセミナーI 等

02 分野横断で複合的・体系的に学ぶ教育プログラム

さらに、三大学の授業科目を複合的に組み合わせ、専門分野に加えて異分野の知識・技術等を習得することで、**社会の各分野でリーダーとして活躍する人材を育成することを目的とした3つのプログラム**を提供しています。また、このうちアントレプレナーシッププログラムでは、実際に起業を目指す活動にもつながっています。ぜひこれらのプログラムに所属して、視野と可能性を広げましょう。

こんな体験も

三大学学生交流で人脈を広げる



令和6年度実施 スキー授業での交流会



令和6年度実施 硬式野球部交流戦



令和6年度実施 大学祭での相互交流

皆さんの大学生活がより豊かになるよう、三大学の学生交流のサポートも行っています。これまでは、部活・サークル単位での交流や大学祭での交流を行いました。三大学の学生交流を企画する際にはぜひご相談ください。積極的な交流の実施を期待しています。



在学生の授業の感想

どの先生方もオンライン受講生に向けての配慮があり、安心して受講できた。

3つの大学とも単科大学であり授業が専門分野に偏ってしまうため、連携授業を行うことによって違う分野のことも勉強でき、関心が高まった。

スキーの技術だけでなく、スキー板の特性や北海道の雪質の特性などいろんなことを知れて良かった。

普段全く他大学の学生と会わないので刺激になった。対面の連携授業はもっとあっても良いと思う。

オンラインで受講したことによって、一回で理解できなかった部分を何度も確認することができたのでよかったです。



令和6年度実施 スキー授業

自分の専門とは違う視点を得られる「気づき」のチャンス

他大学の授業を受けることで、これまでとは全く異なる視点や考え方に会うことができます。これは、自分の専門分野を客観的に見つめ直す貴重な機会です。

自分の専門をさらに深め、社会で活躍できる「強み」を手に入れる

一見、自分の専門とは関係なさそうに見える異分野の知識を学ぶことで、今まで見えなかった関連性に気づき、より深く理解できるようになります。

多様化する社会で求められる「幅広い視野」と「課題解決能力」が身につく

現代社会は複雑化し、一つの専門知識だけでは解決できない問題が溢れています。物事を多角的に捉える「幅広い視野」と、様々な課題に対応できる「柔軟な課題解決能力」を養うことができます。

例えば

北海道経済には「食」が欠かせませんが、食に関するマーケティング戦略を立案する場合、小樽商科大学の科目で市場分析、消費者行動、ブランド戦略などマーケティングの基礎となる考え方や概念、理論を学び、帯広畜産大学の科目で食の安全や農業経営に関する知識を、北見工業大学のデータサイエンス科目で市場トレンドなどを分析する手法を学ぶことで、より実践的な戦略を立てることができるようになります。



一人の学生が複数のプログラムに所属することも可能です。

プログラムの種類
及び内容

- ・アントレプレナーシッププログラム（帯広畜産大学、北見工業大学の学生に限る）
- ・スマート農畜産業プログラム
- ・スポーツ・健康プログラム